

中学校

第1学年 「社会科歴史的分野」指導計画

<p><b>単元名</b></p>	<p>古代までの日本（イ）日本列島における国家形成</p>		
<p><b>単元の目標</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解するとともに、身近な地域に関わる資料やその他の資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> <li>・日本列島における国家形成について、事象の意味や意義、伝統と文化の特色、身近な地域の歴史の特徴などを、農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</li> <li>・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心を持ち、古代の日本と世界に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</li> </ul>		
<p><b>地域、生徒の実態</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校第4学年の学習において、道内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を行うなどしている。</li> <li>・小学校第6学年の学習において、狩猟・採集や農耕の生活などについて、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめる学習を行っている。</li> <li>・地域において、埋蔵文化財センターや縄文時代の遺跡など、古代の歴史を学習する環境が整っている。</li> </ul>		
<p><b>単元の評価規準</b></p>	<p><b>知識・技能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。</li> </ul>	<p><b>思考・判断・表現</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農耕の広まりや生産技術の発展などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本列島における国家形成について古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<p><b>主体的に学習に取り組む態度</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代までの日本について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究・解決しようとしている。</li> </ul>
<p><b>教材について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北海道のガイド教本」（北海道環境生活部）</li> <li>・「北海道の縄文遺跡～北海道の縄文時代と世界遺産を学ぼう～中学生用」（北海道教育委員会）</li> <li>・「北の縄文世界 リーフレット版」（北海道）</li> <li>・その他、3D資料、動画資料、実物資料、写真資料等</li> </ul>		
<p><b>地域の人材について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道立埋蔵文化財センター（所在地：江別市）の職員</li> <li>・千歳市埋蔵文化財センター（所在地：千歳市）の職員</li> </ul>		
<p><b>地域の施設について</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道立埋蔵文化財センター（所在地：江別市）</li> <li>・千歳市埋蔵文化財センター（所在地：千歳市）</li> </ul>		

単元の指導と評価の計画（全4時間）		
時間	○主な学習活動・内容	評価方法と【評価規準】
1	<p>【中項目全体を貫く問い】 古代までの日本において、どのようなできごとが歴史を変えているのだろうか。</p> <p>【小単元の学習課題】 日本に国家が形づくられていった歴史の中で、特に重要だと考えるできごととは何か。</p> <p>○ 教科書や資料集、これまでの学習や小学校での学習を踏まえて、小単元の学習課題について考察し、単元シートに記入する。</p>	<p>□ 単元学習シートの記述 本単元で学習する内容について、小学校での学習などを基に見通しを立て、学習を通して明らかにしようとしている。【主】</p>
2	<p>○ 本時の学習課題「縄文時代の人々の生活は、旧石器時代からどのように変化したか」について、資料を活用して考察し、ワークシートに記入する。 ・衣服、食べ物、住居、道具、作業、信仰</p>	<p>□ ワークシートの記述 縄文時代の人々の生活の様子について、資料から調べまとめている。【知】</p> <p>□ ワークシートの記述 縄文時代の人々の生活の特徴について、旧石器時代の人々の生活との違いに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。【思】</p>
3	<p>○ 本時の学習課題「稲作の広まりにより、人々の生活や社会の様子はどのように変化したか」について、資料を活用して考察し、話し合った結果をワークシートに記入する。 ・生活の変化 ・社会の様子の変化</p>	<p>□ ワークシートの記述 農耕の広まりによる人々の生活や社会の様子の変化について、生産技術の発展や東アジアとの関わりに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。【思】</p> <p>□ ノートの記述 農耕の広まりによる人々の生活や社会の様子の変化について、資料から調べまとめている。【知】</p>
4	<p>○ 本時の学習課題「東アジアとの交流の中で、大和政権はどのようにして日本を統一していったのか」について、資料を活用して考察する。 ・東アジアとの関わりによる社会の様子の変化</p> <p>○ 各時間でワークシートに記入した事柄を踏まえて、小単元の学習課題「日本に国家が形づくられていった歴史の中で、特に重要だと考えるできごととは何か。」について考察し、単元学習シートに記入する。</p>	<p>□ 単元学習シートの記述 東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを説明している。【知】</p> <p>□ 単元学習シートの記述 これまでの学習を振り返りながら、農耕の広まりや生産技術の発展が日本の国家形成に与えた影響について追究している。【主】</p>

※ 学習過程：【課題把握】1時 【課題追究】2・3時 【課題解決】4時

<p>本時の計画（2／4時間目）</p>	
<p>本時の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄文時代の人々の生活の様子について、様々な資料から調べまとめられるようにする。</li> <li>・縄文時代の人々の生活の特徴について、旧石器時代の人々の生活との違いに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。</li> </ul>
<p><b>学習過程</b></p>	<p>● 主な学習内容</p>
<p><b>課題把握</b></p>	<p>□ 評価 ○ 人材、施設、資料等の活用 ■ 指導上の留意点</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校において、縄文時代について学習した内容について振り返る。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟や採集を行って、食料を確保していた。</li> <li>・竪穴住居に住んで暮らしていた。</li> <li>・縄目の文様がつけられた縄文土器を使っていた。</li> <li>・生活に必要な道具を、土や石、木、骨などの自然にあるものを使ってつくり、協力して狩猟や採集をして暮らしていた。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧石器時代の遺跡から発見された打製石器などの資料と、縄文時代の遺跡から発見された磨製石器などの資料を比較し、本時の学習課題について見通しをもつ。</li> </ul> <p><b>課題追究</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本時の課題を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>縄文時代の人々の生活は、旧石器時代からどのように変わったのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧石器時代の日本列島の様子や人々の生活について、教科書の記述や資料などから考察し、ワークシートに記入する。</li> <li>● 縄文時代の人々の生活の様子について、北海道の縄文遺跡群に関する各種資料や3D教材を活用して調べる。</li> </ul> <p>※地域や学校、学級の実態に応じて、いくつかの遺跡を選択させたり、グループで分けて調べさせたりするなどの工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境や立地</li> <li>・食料やそれを確保する手段</li> <li>・使っていた道具</li> <li>・集落の様子</li> <li>・祭りや墓などの精神的な活動の様子</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海や川、森のそばに集落をつくって生活していた。</li> <li>・今よりも気候が暖かく、実のなる木や海産物が豊富であった。</li> <li>・食べ物は、狩りや採集をして確保し、縄文土器を使って煮炊きしたり保存したりしていた。</li> <li>・食べ終わった後の貝殻や魚の骨などは貝塚に捨てていた。</li> <li>・動物の骨や角で釣り針や銚などの骨角器をつくって狩りや漁を行っていた。</li> <li>・イノシシなど動物の牙やヒスイを素材とした勾玉、耳かざりなどの装身具を身に付けていた。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 小学校の教科書の図などの資料を提示する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二つの石器の違いを捉えるため、外部講師による説明とともに、実物資料を用いる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 縄文時代の暮らしの移り変わりを具体的に捉えるために、外部講師による説明とともに、遺跡の360° VRツアーを活用する。</li> <li>○ 当時の生活の様子について具体的に想像するために、3D教材「伊達市北黄金貝塚鯨骨製品」を活用し、道具の使用目的等について考えさせる。</li> <li>■ 地域の実態に応じて、見津かな地域の縄文遺跡に関する資料等を活用する。</li> <li>□ 縄文時代の人々の生活の様子について、資料から調べまとめている。(知)</li> </ul>

<p>学習過程</p>	<p>● 主な学習内容</p>	<p>□ 評価 ○ 人材、施設、資料等の活用 ■ 指導上の留意点</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勾玉は魔除けなどの呪術的な意味合いで身に付けられていたと考えられている。</li> <li>・ 北海道の一部の地域で生活していた縄文時代の人々は、亡くなった子どもの足形や手形を写し取った足形付土版をつくり、家の中に吊して死者を忍び、親が亡くなると一緒に墓に埋葬していたと考えられている。</li> <li>・ 祈りのための土偶を作っていた。</li> <li>・ 高砂貝塚からは、共同墓地や共同祭祀場が集落とは別につくられたことが分かる。</li> <li>・ キウス周堤墓群からは、高い土手で囲まれた大規模な共同墓地がつけられたことが分かる。</li> </ul>	<p>○ 調べたことを基に、旧石器時代の人々の生活との違いに着目して考察し、互いの考えの共通点や関連性について話し合った結果を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1人1台端末の付箋機能やホワイトボード機能を活用し、この後のグループ及び全体での交流が円滑に進むよう工夫する。</li> <li>■ 資料から調べ、まとめたことを基に、集団で食料を確保したり、埋葬をしたりするなど、集団生活をしてきた点について気付かせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気候が温暖になり、食料を安定して得られるようになったことで、人々は竪穴住居を作って同じ場所に住むようになった。</li> <li>・ 縄文土器を作り、食べ物の煮炊きや保存などに使うようになった。同じ場所に住むようになり、壊れやすい土器も使えるようになったのだと思う。</li> <li>・ 勾玉やイヤリングなどの装身具を身に付けたり、土偶や足形付土版を作ったりしていることから、縄文時代の人々は精神的なことも大切にしていたのだと思う。</li> <li>・ 集団で集落をつくって生活するようになり、集落に指導者はいたが人々の間に身分の明確なちがいはまだなかった。</li> <li>・ 他の集落との交流があったようだ。</li> </ul>	<p>課題解決</p>	<p>□ 縄文時代の人々の生活の特徴について、旧石器時代の人々の生活との違いに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 (思)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習したことをまとめる。</li> <li>・ 交流したことを踏まえ、縄文時代における人々の生活の特徴について考察し、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 縄文土器を使い、竪穴住居に住み、豊かな環境に適応した、狩猟採集中心の生活を送っていた。</li> <li>・ 集落をつくって集団生活を行い、共同して食べ物を集めて蓄えたり、集落のそばに貝塚や貯蔵施設、共同祭祀場、共同墓地をつくったりしていた。</li> <li>・ 集落に指導者はいたが、身分の明確な違いはまだ見られず、協力して道具をつくったり、自然の豊かな実りを祈るまじないを行ったりしていた。</li> </ul>	<p>縄文時代の人々は、集落をつくり、自然環境に応じた狩猟や採集を行って食料を確保するとともに、共同の墓地をつくって死者を埋葬したり、豊かな実りを祈るまじないを行ったりするなど、集団で生活を行っていた。 また、このころはまだ身分の明確な違いがなかった。</p>
<p>新たな課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己の学習を振り返り、調整しようとしている。</li> <li>・ 自己の調べ方や学び方、結果</li> <li>・ 新たな問い (課題)</li> </ul>	<p>○ 身近な地域にある遺跡への興味・関心を高めるために、地域の遺跡との関連について、外部講師による説明を聞く。</p>